

# 東洋ビューティ株式会社

## 独自の研究開発力を活かし 企画・処方開発から化粧品を扱う



### 科学的根拠に 裏打ちされた化粧品

化粧品のOEMメーカーとして顧客の多様なニーズにフレキシブルに対応し、多品種多目的生産から大量生産まで幅広く扱う東洋ビューティ。独自の研究開発力を活かした提案を行い、企画から生産・製品化までをトータルに行うことで、世界に通じる化粧品受託メーカーとしての地位を築いてきた。

現在では、製品の提案からスタートするものが8〜9割を占め、メーカーの処方に合わせて生産は少なくなっている。取引先は、100社を数え、扱う製品は多彩。特にスキンケア、ヘアケア製品が多く、美容液や、洗顔料、シャンプー等の割合が高い。同社の特長は、科学的根拠に裏打ちされた化粧品の開発技術にあり、研究開発部では、特に、機能性化粧品を持つ、ヒトの肌への効用の探索を行っている。



具体的には、ヒトの細胞や皮膚を再構築した三次元培養の皮膚モデルを用いて有効性を評価する等のアプローチを実施。従来のビタミンC（L-アスコルビン酸）よりも皮膚への親和性が高い新規両親媒性L-アスコルビン酸誘導体を開発した際も、三次元培養皮膚モデルを用いた実験において、メラニン生産抑制やコラーゲン生産促進などのアンチエイジング効果を示すことを確認。この結果をもって、平成19年からは、当該物質を用いた化粧品を商品化。日本、アメリカ、韓国、シンガポールで特許を取得している。

近年、アンチエイジングへの関心が高まる中、美白、シワ対策、保湿等への対策を盛り込んだ商品への要望が増加しつつある。従来は、アンチエイジングに対して有効とされる原料を使うだけで済んでいたが、今では、その働きを裏付けるデータが必要となってきた。しかしこれは、社内に研究所を持ち、データとともに商品提案が可能な同社の強みと世間のニーズが合致した瞬間でもあったのだ。

### 開発者自身がニーズを把握 新世代の商品を提案

現在、約2000人の社員のうち、開発に携わっているのが約40名。開発を行っているのは大阪の中央研究所と、新設されたばかりの宇都宮開発研究所。両研究所は、オンラインによる一体化を図っており、商品開発力はますます向上しているといえる。

東洋ビューティ株式会社

Company  
Profile

住所 / 〒537-0021  
大阪府大阪市東成区東中本3-13-8  
設立 / 昭和16年7月  
資本金 / 4,500万円  
従業員 / 192名（平成21年1月現在）  
TEL / 06-6971-0271  
FAX / 06-6981-4348

ISO 9001  
ISO 14001

<http://www.toyobeauty.co.jp/>



岩瀬保彦さん  
代表取締役

### 主な事業内容

化粧品、医薬部外品の受託製造、新製品の企画・研究開発、化粧品の受託、医薬部外品の輸出入

「開発者の平均年齢は28歳と若く、開発者本人が顧客にプレゼンを行う」という同社。「お客様のニーズとの間にあるギャップをなくし、製品化までをきちんと見届けるという方法を採用しています。そうすることで、若い研究者にも責任感が生まれ、開発技術が向上します」。そう語る岩瀬保彦社長。同社が「丸」となっており、若く「機能性に裏打ちされた夢のある化粧品創り」への挑戦は、これからも続くのだ。